

# 学校評価の報告

アンケートのご回答ありがとうございました

次年度に向けて、よりよい教育活動を行っていくために、児童・保護者からアンケートをとり、また、地域の方からご意見をいただき、学校評価を行いました。これらの結果をもとに教職員で考察した内容並びに関係者評価委員会の内容をご報告させていただきます。

2月の学校関係者評価委員会の話し合いの中で次のような点を確認しました。



## 【学校関係者評価委員会】

- ① 保護者、地域と協力をして取り組むとよい  
あいさつ、携帯型ゲーム機・携帯電話の使い方や使用時間、学習習慣の定着等については、学校の指導だけではできないところもあるので、保護者、地域と協力をして取り組むと良いという意見をいただきました。
- ② 子どもたちが取り組む活動をするとうい  
あいさつやゴミを拾うことなど児童に浸透させたい活動が、広がっていくと良いという意見をいただきました。1月中旬から児童会の取り組みで、正門で子どもたちが職員と共にあいさつ運動をするようになりました。児童が取り組める活動を広げていきたいと思えます。

### カリキュラム・校内研究部

- 引き続き教員の授業力の向上をめざす。特に授業でのICT機器の活用、グループ活動の充実、教員の「より効果的な話し方」の習得についても取り組んでいく。
- 児童が、国語力が付いたと実感できるためには、漢字の読み書きの能力や語彙力を高めることが重要だと考える。毎日の授業はもとより、朝のモジュールの時間を使ったスキルタイムの中で、これらの学習や視写や文作りを行う。できれば学校独自の漢字検定等にも取り組みたい。
- 児童の力を伸ばすためには、家庭での学習も不可欠であり、与えられた課題だけをこなす宿題だけでなく、各自の考えた課題への自主的な取組を家庭の協力のもとに促進していく。

### 指導法改善部

- 効果的に児童を育成できる指導法を検討しながら、必要な研修を外部の方に要請する。また、携帯型学習機器の使い方の情報を収集して活用の仕方の研修を引き続き行う。
- 今年度の研修で学んだ歌い方や合唱の仕方を積極的に実践し、児童が楽しく歌に取り組めるようにする。
- 委員会の活動を重視して、委員会活動している児童の活躍が認められるようにするとともに、学校をよりよくしようとする意識を高め、責任感を強くもたせる。具体的には、運動会の係分担を委員会ごとに振り分け、取り組み方を児童に考えさせ、協力して活動させる。また、児童朝会ですべての委員会に発表をさせる。

### 児童指導・支援相談部

- 「いじめは絶対に許さない」の共通認識をもつことや、すぐ言える学級の雰囲気作りを引き続き心がけ、未然防止・早期発見・早期対応を基本に取り組む。
- 「鮎っ子の生活」の約束などに沿って、指導を統一し、引き続き指導にあたる。
- 今後も、あいさつ・廊下歩行・名札の着用の徹底を引き続き図る。
- 基本的な生活習慣の定着と児童の社会性の育成を具体的に図っていく。
- 保護者や地域の協力を得て、引き続きあいさつの徹底を図っていく。

### 健康安全・管理運営部

- 健康面では、自身で健康に留意し、健康的な生活を送れる児童をめざし、日々の指導を継続していくとともに、けがの防止、感染症拡大防止等への職員の意識も高めていく。
- 安全面では、今年度の反省や課題に基づきさらに想定される状況を含めた訓練、教職員対象の不審者侵入対応の研修会等を実施し、児童・職員の危機管理・安全意識の高揚を図る。
- 自転車ヘルメット着用率の早期 100% をめざす。
- 懇談会や行事、お便り等を通じ、家庭の理解と協力を得られるようPTAとも連携していく。
- 地域や警察等との連携も密に、協力して児童の安全を守っていく。

